

政府方針等における関連記述

《経済財政運営と改革の基本方針 2021 日本の未来を拓く 4 つの原動力～グリーン、デジタル、活力ある地方創り、少子化対策～（令和 3 年 6 月 18 日閣議決定）》抄

第 2 章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉～ 4 つの原動力と基盤づくり～

5. 4 つの原動力を支える基盤づくり

（1）デジタル時代の質の高い教育の実現、イノベーションの促進

デジタル時代にふさわしい質の高い教育を実現するため、デジタル教科書の普及促進、小学校における 35 人学級や高学年の教科担任制の推進、外部人材の活用を図るなど、GIGA スクール構想と連動した教育のハード・ソフト・人材の一体改革を推進する。

《成長戦略フォローアップ（令和 3 年 6 月 18 日閣議決定）》抄

4. 「人」への投資の強化

（7）ギガスクール構想の推進による個別最適な学びや協働的な学びの充実

i) 初等中等教育段階における Society5.0 時代に向けた人材育成

- ・ 小学校 35 人学級の計画的な整備やその効果検証等を踏まえ、中学校を含め、学校の望ましい指導体制の在り方の検討を進めるとともに、小学校高学年における教科担任制の推進や教師の養成・採用・研修等の在り方の検討、ICT による校務改善や多様な支援スタッフの充実等働き方改革の推進を図る。

《統合イノベーション戦略 2021（令和 3 年 6 月 18 日閣議決定）》抄

第 1 章 総論

3. これまでの取組の評価・課題と重点的に取り組むべき事項

（3）一人ひとりの多様な幸せ（well-being）と課題への挑戦を実現する教育・人材育成

（STEAM 教育/特異な才能の伸長/多様な教職員集団/小学校教科担任制等）

（前略）また、理数教育の強化に向け、先進的な理数教育を行う高等学校等の支援や、高度理系人材等、専門的な知識・技能を有する多様な人材が学校現場に参画しやすくなるような教員免許制度の見直し、小学校高学年における教科担任制の推進等の取組を着実に進めていく。

《ポストコロナ期における新たな学びの在り方について（第十二次提言）（令和3年6月3日教育再生実行会議）》抄

1. ニューノーマルにおける初等中等教育の姿と実現のための方策

(2) 新たな学びに対応した指導体制等の整備

②教師の質の向上、多様な人材の活用等

- 国及び地方公共団体は、学校の実情に応じて様々なスタッフ職の配置を支援し、「チーム学校」による協働的・組織的な取組を推進するとともに、少人数学級の計画的な整備や小学校高学年における教科担任制の導入等を行う。また、同時に、部活動改革やテレワークを含む先進事例等の情報発信や、ICTの利活用等による学校業務の効率化により、働き方改革を推進する。

《第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日）》抄

第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大とそのため
の人材育成・場の充実

(1) スポーツ参画人口の拡大

②学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確立と体力
の向上

[具体的施策]

- ウ 国は、地方公共団体等と連携し、小学校における体育の専科教員の導入を促進するとともに、運動が苦手な児童生徒や障害のある児童生徒が運動に参画できるよう研修を充実するなど、教員採用や研修の改善を通じ、学校体育に係る指導力の向上を図る。